

校長室だより

NO.20 平成29年3月17日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「春分（しゅんぶん）」

3/21頃二月中 二至二分（如月：きさらぎ） 太陽視黄経 0 度

日天の中を行て昼夜等分の時也（暦便覧）この日をはさんで前後7日間が彼岸。花冷えや寒の戻りがあるので暖かいと言っても油断は禁物。昼夜の長さがほぼ同じ頃であり、この後は昼の時間が長くなって行く。

心のこもった「さよなら会」 3月14日（火）、在校

生がお世話になった6年生とお別れする「ガッツださよなら会」を体育館で行いました。6年生が入場すると優しい雰囲気が体育館いっぱいになり、子ども達の意気込みが感じられました。



1年生から始まった発表は、どの学年も想いのつまったお別れ言葉と歌声でした。教職員は『世界に一つだけの花』を合唱しました。

6年生のお別れの言葉、歌、リコーダーは、6年間のお別れの気持ちのこもったもので、心にぐっとしみこみました。

今年の6年生も、最高学年として学校を引っ張るという気持ちで、ボランティア活動をいっぱいしてくれました。下級生は、やさしい6年生が大好きでした。きっと、その感謝の気持ちが「さよなら会」に表れたのだと思います。特に関わりが深かった1年生のなかには、いつまでも、別れを惜しみ泣いている子もいました。

退場する時の6年生の満足そうな顔から、今年も心のこもった「ガッツださよなら会」となったと実感しました。

最高学年になる5年生も頑張ってくれました。会をスムーズに運営してくれましたし、送別の歌は、在校生最高学年の素晴らしい歌声を聴かせてくれました。卒業式の練習も、在校生の代表としての自覚を持って参加し、6年生からバトンを引き継ぐ気持ちのあふれるものでした。いろいろな準備にがんばってくれた5年生のみなさん、ありがとうございました。



子ども見守り隊感謝会 3月7日（月）、子ども安全

見守り隊の皆さんに来校いただき、体育館で『見守り隊感謝会』を行いました。感謝会では、見守り隊の方々一人ひとりをご紹介した後、皆さんからお言葉をいただきました。児童会から代表でお礼（「どんな日でも元気なあいさつと笑顔をありがとうございました。これからも、体に気をつけて見守ってください。私たちも元気なあいさつで笑顔にさせたいと思います。」）の挨拶をした後、一人ひとりに手織りのネックウォーマーと感謝状を渡し、全校児童でお礼を言いました。

